



広報

あくな

阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数 (11月1日現在)	
人口	29,709 (+12)
男	13,885 (+12)
女	15,824 (±0)
世帯数	9,831 (+17)



千人撞のほやー唄
 今年しゃるるん年 かんねんかすら
 強つて、こゝろーままにする
 今日ほふのよや、校者どんのおそよ
 けしんさんでり星しゃ九じゃ

住民の血と汗の人造池

長谷池

——鶴川内長谷区



市内鶴川内の長谷区から農道を南へ約八百メートル、行き止まりから上堤を登ったところ、長谷池がある。満潮と水があふれ、鳥たちが静かに羽を休めている。ひょうたんの形をした池は周囲一キロはあろう。この池は、今から約百七十年ほど前(文化七年、一八一〇年)、当時多田地区一帯の田畑を干ばつから守るため、藩が二ヶ年の事業で完成させた人造池で、三つの小山で囲まれた谷の北側に土堤をつくった。この土堤は「千人撞」と呼ばれる工法で、石灰と粘土を混ぜて水で練り、これに数日本のクイを打ちこんでつき固めたという。土堤は、高さ、幅十メートル、長さ約四十メートル、白までびくとせず、流水を防いでいる。

この池をつくるのに作業は難きをきわめ、首頭をとる千人撞のはやし唄は彼れきった百姓たちを励ましたといわれています。

59年
11月号

動き出す 新田地区の排水対策

脇本



洪水で冠水する新田地区（宮崎神社前付近）

60年度着工、河川拡幅など

大雨時に河川がはらんし、水田や道路などが冠水、農作物への被害や子どもたちの通学等への支障が出ていた。市内脇本の新田地区の排水対策事業がいよいよ始まることになり、本年度から昭和六十三年までの五か年事業で、河川の拡幅などの改修が行われます。

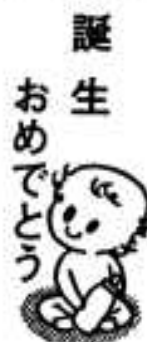
市内脇本の新田地区は、脇本町町北側、国道389号とバイパス、それに市道上原、瀬之浦線に囲まれた約十七段の水田地帯で、稲作を主体にした農業が営まれてい

ます。この中を二級河川の新田川が東西に流れていますが、現在、新田川は河口部分の川幅が十二段、上流で平均して七段しかなく、六月から七月の梅雨期には、立山やこの地域一帯に降った雨が集中してこの新田川に流れ、排水能力をオーバー、洪水を起こし、水田や子どもたちの通学路となっている市道などが冠水するなどの被害が出ており、地元民から冠水防止などふくめた新田地区の排水解消の要望が出ていました。

樋門も撤去し、川幅を35段に拡幅します

市ではこれらを解消するため、昭和五十七年度から調査を進め、事業の推進を計画してきましたが、昭和五十九年に県営事業として採択決定、調査費が予算化され、昭和六十三年までの五か年事業として改修工事が始まることになりました。

計画では、新田川の下流部分一



誕生

おめでとう

出生児 保護者 区名

福崎 稔 幸一 (上野)	神ノ田 円 和博 (川畑中)	佐野 久美 富十男 (大丸)	永井 野雄 一 千 年 (高之口)	春田 弘樹 次雄 (牧内)	末吉 章 信雄 (遠矢)	宮瀬 一 弥 久 志 (一段)	西園 真紀 秋 穂 (高之口)	松永 雄輔 正 友 (高松)	磯畑 祐大 章 (中屋敷)	新蔵 真美 正 人 (新町)	下臨 公太 克 己 (波留)	鷗木 優志 正 明 (波留)	古園 愛美 裕 子 (湖)	山崎 文香 等 (高松)	上村 真子 真 一 (牧内)	沼田 直人 弘 志 (山馬場)	松永 真治 正 美 (山馬場)	恒吉 明菜 次 則 (永田上)	外山 祐介 明 (高之口)	堂山 宗幸 重 男 (一段)	春田 幸也 幸 一 (大林)	波瀬 藍 保 (浦)	川畑 由紀子 力 雄 (新町)	川上 里花子 洋 一 (大丸)	山口 亮子 章 (梅)	山元 真理子 二 三 男 (大尾)	若松 寿弥 茂 樹 (尻無上)	佐瀧 芳久 芳 徳 (中村)
--------------	----------------	----------------	-------------------	---------------	--------------	-----------------	-----------------	----------------	---------------	----------------	----------------	----------------	---------------	--------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------	----------------	----------------	------------	-----------------	-----------------	-------------	-------------------	-----------------	----------------

とともに、現在大きくカーブしている新田川をほぼ直線に手直し、護岸も現在より高くして水田への冠水を防ぐことにしています。また、河口にある橋脚は撤去し、水の流れをスムーズにします。これらの事業に伴う総事業費は約四億円、今年調査が終了すれば、

今年調査完了 事業費約四億円

来年度から工事に着手する見通しになっており、永年冠水被害に見

良い道路になります

赤瀬川線(浦区)

ただいま改良中

市内赤瀬川の浦地区内を通る、市道赤瀬川線の改良工事が始まりました。

赤瀬川線は国道3号接点と国道389号接点を結ぶ延長約二四〇の市道。現在、道幅は約三、六メートルと狭いうえにカーブが多く、車の離合、とくに大型車の離合には支障をきたしていました。

今回改良するのは、国道389号接点から三百七十メートル、道幅を



拡幅のためのクイ打ちも終り
工事が始まる

五メートルに拡幅、山手側に側溝を設け、アスファルト舗装に仕上げます。完成は来年三月中旬で、総事業費千二百七十万円(臨時地方道整備事業)。また、残りの区間についても来年度から改良予定です。

古い校舎の改築へ

鶴川内中学校

市内の鶴川内中学校でただ一つ残っていた古い校舎の改築工事が始まりました。

改築される校舎は、昭和二十七

舞っていた農家の方々や子どもたち、それに地区民から大きな期待が寄せられています。県では、この排水事業と合わせ新田地区全体の土壌整備にも今後取り組むことになっており、今の計画が着々と進んでいます。

**選ぶ目が
生きて伸びゆく
地方自治**

来年二月は知事選挙です

市長室から

市政推進にあなたの声を



冬の使者、ツルも出水地方を訪れ、山の水々も色づきはじめ、いよいよ冬の訪れです。市民の皆さん、いかがお過ごしでしょうか、月日のたつのは本当に早いもので十一月に入り、今年も残り少なくなりました。市政も諸施策を順調に消化してまいりますが、これもひとえに市民の皆さんのご理解、ご協力のお陰と感謝しているところであります。

さて、今月から各区において市政懇談会を実施しております。これは、地域の意見や要望など、市民の声を直接お聞きして、少しでも市政に反映さしていこうという主旨のもので、こういう機会にできるだけ多くの市民の方々とひざを交えてお話しをして参りたいと考えております。これまでに沢山の要望、意見が出されましたが、どの一つをとっても市民生活に、また、それぞれの地域の発展に大事な案件ばかりでありまして、市民の福祉向上のためやらなければならぬ問題ばかりであります。私共はこれらの事業につきまして、十分検討のうえ、市民の期待にこたえられるよう配慮してまいりたいと考えております。この時期になりますと明年度

の子算編成作業が待っております。毎年のことではありますが、予算の編成に当たっては、市民の声を十分参考にしながら、あれもしたい、これもやりたいと思ひ、もう少し金があればと……しかし、財政の苦しいときにこそみんなでお知恵を出し合い、力を出し合い、がまんできることはがまんし合いながら市民の福祉向上と市勢発展のために、正しい前進を続けたいものだと思うこととあります。

市長室長 川畑 強

年建てられた、現在まで二階校舎の西側、体育館のとなりであった校舎で、これまで生徒のクラブ室などに使用されてきました。新しく建設される校舎は、鉄骨造り平屋で、延面積三百四十九平方メートル。英語L教室、準備室、生徒会室になる予定で、総工費二千四百八十万円。これで、鶴川内中学校は給食室をのぞきすべて新しい校舎となります。



川畑市長より陳情を受ける（市役所で）



新田地区を視察された大臣（瀬之浦下区で）

山村（農林水産大臣）阿久根を視察

「事業の推進に努力」

山村粉治郎農林水産大臣が、十月十六、十七日行政視察のため、阿久根市を中心に出水地区を訪れ、臨本の臨本地区土地基盤整備事業予定区など視察しました。
十六日鹿兒島空港に着いた大臣は、新橋助役や榎尾議長の出迎を受け、車で阿久根へ直行、午後四時四十分市民や職員が出迎える中、市役所を表敬訪問、第一会議室で陳情を受けました。

会場には、川畑市長や隣接市町長ら四十人が出席、川畑市長が阿久根市の概要と農林水産業の現状を説明したあと、「県営（臨本新田地区）排水対策特別事業の昭和五十九年度新規採択」「県営海岸保全事業の新規採択」「第七次漁港整備計画の促進」など六項目を大臣に直接陳情しました。
大臣も「各事業が早急に推進できるよう努力します」と、前向きに回答しました。

新田地区を視察

このあと大臣はさつきそく臨本の新田地区の視察に出発。地元区民歓迎、山村粉治郎大臣
十八人が待つ臨本瀬之浦の四ツ割地区で、臨本地区土地基盤整備事業の計画を京田盛雄土地改良課長から説明を受けました。
午後六時から、阿久根市漁協ホールで国政報告会が開かれ、市民五百人を前に、大臣はまず、「いろいろ阿久根市から陳情があったことについては、帰ってから頑張ってみよう」と話されたあと日ソ漁業協定や米値、牛肉、オレンジの自由化の問題などについてわかりやすい説明が行われ、最後に「日本の農林水産業のおかれている立場は厳しいものがありますが、私は阿久根市発展のため尽くします」と決意を述べました。
大臣は市内の旅館に一泊したあと十七日は出水、東西長島を視察しました。



大臣の国政報告会

第一回臨時市議会

昭和五十九年第一回臨時市議会は、十月十二日開会され、同意一件が上程、原案通り可決されました。

これは、前教育委員池田友吉氏の任期満了にともない、新たに大磯政明氏（五九）を教育委員として任命するものです。

出生つづき

- 岩崎 祥子 敬二（寺山）
- 石原 正輝 末広（上原）
- 追口 竜一 高志（桐野下）
- 山本 沙織 光高（黒之浜）
- 都津川 浩子 正勝（下村）
- 洲上 春夫 悟（黒之上）
- 尾崎 良早 義美（深田）
- 西園 鏡太 通行（高之口）
- 福田 研吾 恵一（高之口）
- 折 優 末雄（本町）
- 釜 美由希 民夫（濁）
- 松田 華奈 幸次（牧内）
- 後藤 敏和 美敏（折口東）

こめいふくもお祈りします

- 死者 年齢
- 花木アキノ 86（本多筆札）タツ子
 - 宇都チカノ 70（本多筆札）義明
 - 大石サカイ 88（梅）栄蔵
 - 幸 善久 19（大丸）阿場良吉
 - 香木 良治 50（新町）恵
 - 尾原 ナツ 80（尾原）レイ子
 - 新藏 敏郎 61（新町）ツヤ子
 - 的場興四郎 92（的場）隆義
 - 濱崎 七次 70（本町）優
 - 池田 スミ 79（上野）幸徳
 - 高桑タカノ 78（上野）ひとみ
 - 下蘭 泉 25（濁）光男
 - 下澤 嘉治 68（古里）一男
 - 池田 マチエ 82（臨本場）徹

貨車4輛を

魚礁に

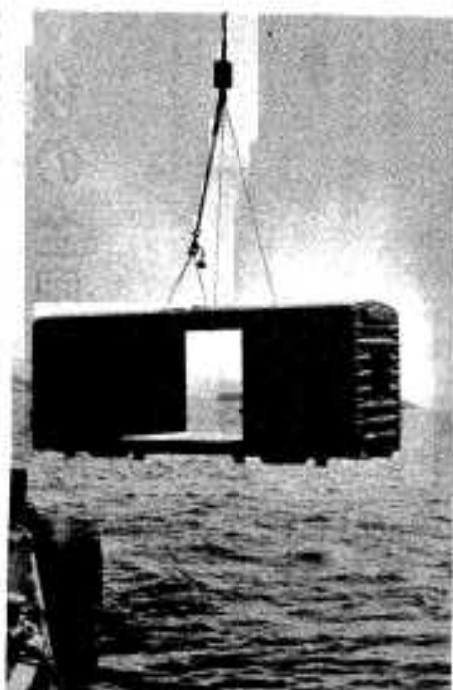
阿久根市漁協が投入

阿久根市漁協は、十月二十二日倉津沖に不用になった貨車を魚礁用として投入、漁場づくりを進めました。

投入した貨車は国鉄の払い下げ品四輛で、一輛当たり運送費をふくめ二十五万九千円で購入。車輪を取り除いた五ノの車体は横に九十センチの窓をあけ、魚の回遊に便利

なように工夫しました。白船に積まれた貨車は、大島の南西一帯、倉津の西一帯の水深四

十メートルの海域に投入しました。ここはこれまで並型魚礁などが投入されている好漁場で、漁協でも



倉津沖に投入される貨車

「魚礁として大いに期待したい」と言っており、来年以降も毎年、この廃貨車の投入を続けていくとのこと。

ふるさとの味

加工場完成

イモキントンなど

製造へ

阿久根市農協

阿久根市農協が市内山下馬場の農産物加工工場（タケノコ工場）を増設していた「ふるさとの味」加工施設が、完成。お菓子の原料となるイモキントン（イモアンの製造）に入りました。

この事業は、市農協が、地域で生産される特産品（カライモ、グリーンピースなど）を加工し、付価値のあるものに製品化し、農家の所得向上を図ろうと、市の補助を受け、現在のタケノコ工場の西側に総事業費約二千二百万円を増設していたものです。

加工施設は、鉄骨ストリートぶき百二十五平方メートル。この中に各種の機械を入れ、原料を製管化していきます。現在、カライモを使ったイモキントンの製造に入っており十一月いっぱいまで操業します。今後は、農協で使用するみそなどの製造も検討しているとのこと。

鶴小、古里（くろ）が

優秀賞に

市花だんコンクール

昭和五十九年度阿久根市市花だんコンクールは、九月十八日審査が行われ、鶴川内小学校と古里老人クラブが優秀賞に選ばれました。

今年度のコンクールには、学校の部に四校、一般の部に十五の応募があり、阿久根農高の小田先生ら五人の審査員によって入念な審査が行われ、入賞団体が決まりました。

なお、特選以下は次のとおりです。

○特選 単人小中学校 中村、段上原の各老人クラブ

○入選 田代小中学校 瀬之浦上下村 浜 大下 下桑原の各老人クラブ

お年玉つき

年賀ハガキ

発売中

郵便局では、今、六十年のお年玉年賀ハガキを発売中です。一枚40円。また、このほかに絵入り（博多人形、紅梅、おしどり）のものもあります。一枚45円です。枚数も少ないです。お早目にお

買い求めください。

教育長に

大磯氏

市の教育委員会教育長に新しく大磯政明氏が就任いたしました。

大磯氏は、薩摩郡宮之城町出身で、昭和十九年鹿児島青年師範学校を卒業後、県内の小



中学校長、薩毛教育事務所長などを歴任。昭和五十五年から五十九年十月まで、国分市立国分中学校長でした。

市民の付託に

こたえる

教育行政を

「私は、今回、池田教育長の後任として本市教育長に任命されました。

もとより浅学非才でありまして、この重責を全うできるか心配して

おりますが、命を受けた以上は、微力ながら最善をつくし職責を果たす覚悟でございます。行政の基本は住民の付託にこたえることだと思いますが、今日、市民の教育に対する関心と期待を考えると、ますますその感を強くいたします。

私は、それにこたえるため、市長部局をはじめ、市議会や関係機関団体、市民のみならず方のご理解とご協力をいただきながら、精一杯の努力をしますの

徳田君が特選に

朝よみ夕よみ標語

阿久根市教育委員会が募集していた「朝よみ夕よみの標語」の結果

果がこのほど決まりました。市内九小学校と三つの中学校から六十四名の応募がありました。審査の結果、特選に鶴川内小学校五年生の徳田勇樹君が決まりました。

標語は次のとおりです。

ぼくの朝読みは
家族みんなの
めざまし時計

海技免状の引き換えは お忘れなく!!

現有免状	引換年度	現有免状	交付年月日	引換年度
乙長 乙一(航海)	昭和59年度	乙長(航海) 1,2,3,4級	49.10.1 50.6.30	昭和59年度
乙二(*)	昭和60年度	*	50.7.1 50.12.31	昭和60年度

※免状の引換に必要な書類○海技免状又はコピー
○写真○捺印○手数料1枚2,000円

入選以下は次のとおりです。
○入選 若松きみよ(尾崎小)
大田るみ(大川中)

○佳作 やまぐちりょう子(鶴川内小) 青木康太郎(折多小)
吉野ひとみ(山下小) 辻夏織(稿本小) 田中宣子(阿久根中) 小幡純一(田代中)

市民の声にお答え

使用済乾電池の回収は

問い合わせ

使い捨てられる乾電池の水銀による汚染問題が、新聞、テレビによって報道され、その回収や防止について国や地方公共団体の対応が注目されています。阿久根市においては、この問題についての

「あとで」より「いま」が大切

火の始末

秋の全国火災予防運動

11月26日から12月2日



ような対処をされているのでしようか

回答

本市では、この対策として、昭和五十九年六月に「使用済乾電池回収箱」を、市内小中学校に十五個、市役所、中央公民館に四個、それに警察署に設置し回収を実施しています。さらに各家庭には各区長を通じて有線放送により、回収

に協力をお願いしているところです。

十月初めまでに約三百名が回収され市役所に保管しています。さらに、市内の電気店、時計店などとも連携を図り、特に水銀が多く含まれているといわれる「ボタン型電池」を主体に回収を進めています。

今後引き続き、市民の協力を



得ながら使用済乾電池の回収に努力してまいります。

国民年金 こんなときこんな年金が

ひとつの掛け金で、人生の節々に年金が用意されています。

65歳を過ぎたら 老齢年金

夫が掛け金を納め、亡くなったとき 寡婦年金

生前中心者が亡くなったとき 母子年金

生前中心者が亡くなったとき 準母子年金

収入がなくなったとき 遺児年金

国民年金加入

加入後一年 障害年金

障害を受けたとき

十一月三十日まで納入を 個人事業税二期分

八月と十一月は、個人事業税の納期です。

個人で事業をしている人は、第二期分を十一月二十日までに、お近くの銀行、郵便局、農協、県の総務事務所または鹿児島県県税事務所、各支庁で納めてください。



作品展示会場も大にぎわい

カメラ散歩



ふくしの広場

お年寄り、障害者、みんなふれ合おう。……出水地区福祉の広場は十月二十五・二十六日の二日間市民会館、市民体育館で行われにぎわいました。

ひろばでは、地区内市町のお年寄りの作品や福祉施設入園者の作品、バザー、健康相談、子どもたちによる福祉授業や作文発表、ゲートボール大会などの催しが行われました。



阿光保育園児による鼓笛演奏



大盛況のうどんコーナー



新牟助役らによるテープカット



折多小四年生による「福祉授業」福祉に理解を示した



市民会館前広場ではゲートボール大会も行われた

消費者の質問箱

6

質問 海外商品取引について

海外商品取引所における金、石油、砂糖、大豆などの取引に一般委託者が被害に合わないためにはどのようなことに注意すればよいでしょうか。

答 海外商品取引所におけるこれらの品物で、一般委託者が巻き込まれ、悪質業者に大金をまき上げられるケースが増えています。悪質業者の手法として①必ず儲かるかのごとく勧誘し、何時間もねばる②顧客が頼んでもいないのに勝手に取引を行い、これを顧客に押しつける③顧客の注文を海外商品取引所に取次がずに吞んでしまう——などがあげられます。

海外商品取引所の取引については、時々刻々変わる海外相場を確認するのが難しいこと、為替相場の変動も考慮に入れなければならぬことなどから、一般委託者にとつては極めて危険なものです。したがって、一般の方はこうした取引に参加しないことが賢明です。また、取引をする意思がない場合は、あいまいな返事をせずはっきりと断りましょう。



たばこは市内のお店で買ひましょう

市内橋本陣之浜 跡上休作さん(52)



尾崎小の子どもたち

テレビによる防災キャンペーンを
ご覧ください

放送局	曜日	放送時間
KTS鹿児島テレビ	木	10:55-11:00
放送日	テーマ	
11月15日	思わぬところから火事!	
11月22日	昭和59年、消防白書は語る(予定)	
11月29日	秋の火災予防運動	

図書館だより

今月の新着図書

▽忠臣蔵とは何か(丸谷才一著)
▽異国の嵐 下(井上靖著)▽天
路の空落(大西巨人著)▽ぼくら
の世界(栗本薫著)▽クレオパト
ラの黒い溜息(小峰元著)▽愛と
別れの街 上・下(夏堀正元著)

▽二人だけの競奏曲(赤川次郎・
横田順彌著)▽反則すれすれ夢芝
居(村松友規著)▽白夜を旅する
人々(三浦哲郎著)▽自由時間(増
田みず子著)▽水晶の夜(山川
健一著)▽バーボン・ストーリー



わたしの
十八番
盆栽

市内大丸町
河南水音さん(75)

河南さんの家の裏庭は足のふみ
場もないほどの盆栽でいっぱい。
ツバキ、松、モッコク、ウメなど
百五十鉢はある。
とくに河南さんが手がけている
のがツバキで、ほとんど自分でさ
し木し、接木したもの。今「岩根
紋」をたんねんに育てている。
「自分の好きなように形をつく



り、来年はどんな花が咲くか、そ
れを一日一日待つのが楽しみでし
と語る河南さん。
区の老人クラブのお世話もして
いるので忙がしい身ですが、盆栽
の手入れはおこたらない。
いつかツバキの咲いたのを店に
飾っていたら外人さんが「ワンダ
フル」といってびびくりしたこと
もある……と笑う河南さん。
ネコとテレもがこわいそうです。

(沢木耕太郎)▽トットチャンネ
ル(黒柳徹子)▽鬼火の町(松本
清張)▽情身命(上田三四三)▽
私一人(ローレン・バコール)▽
イルテッシユ号の来た日(難波利
三)▽やがて冬が終れば(北方謙
三)▽別れの余韻(澤地久枝)▽
安葬子の靴(唐十郎)▽道行く人
たちと(対談集)(宮本輝)▽男
装の麗人川島芳子伝(上坂冬子)

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時か
ら午後五時まで、急患の方以外は
ご連絡ください。

- 11月18日
阿久根内科②0578(琴平)
田中外科③0553(大丸)
石原医院⑤0045(揚東東)
11月23日(勤労感謝の日)
有村産婦人科④4180(上野)
内山病院③1551(高松)
協本病院⑤2121(鶴之西)
11月25日
上園医院③1055(本町)
北国医院②0016(本町)
浜之上医院⑤2600(鶴島場)
12月2日
郷切産婦人科②0263(高松)
喜多医院②0038(大丸)
黒木外科⑤0200(下村)
12月9日
大塚眼科②0306(浜町)
内山病院③1551(高松)
平 医院⑤2626(古里)

消防ミニニュース
()は一月から十月まで
十月の火災発生数2(18)
救急車出動回数 52(572)

サークル紹介 ⑬

あくね
こじか(パレーボールクラブ)



こじかチーム、名前だけは千代のママさんチームみたいですが、どうしてどうして、先月の新入部員があるまで若い者は二十四歳これからみても、こじかとはちよつとかけの声でおおじかと呼ばれることもたびたびある。
おかげさまでチームワークだけは、他チームには負けないと思う。年一回大たちとの試合、後は練習日に迷惑をかけるおわびに酒のサービス、他のチームにはみられない事だと思ふ。
昨年は社会体育の面で県表彰、今年には文部大臣表彰と、二年連続で表彰されたが、これも監督、コーチ、キャプテン、夫たちの協力があつてこそ。家庭を守りながら健康の為、チーム作りの為、練習に励むこじかである。

阿久根歌壇

(秀逸)

読経するかたへに孫の坐りゐて肌のぬくもり伝ひて愛(かな)し

赤瀬川 遠矢 律

(評) 仏壇は冥界の父祖との対話の場でもある。衆生は三界六道に輪廻転生して迷いの生死を重ねるのであるが、回向しきりなる老の傍には血脈を継ぐ幼い生命が肌を接している。こよなき孫の温みは時

に法悦にも似るか。

(佳作)

繕ひし風呂敷なれど捨て難し生活支へし父の形見ぞ

大丸 横崎 幸

(評) 昔の人は貧富にかかわらず質素儉約を旨とした。子ゆえに辛苦に耐え富貴たりし父の記憶は既に遠いが、古びし日用の形見こそ作者には珠玉に優る物なのである。

折田憲司選

自動車の往来絶えぬと思ふとき庭の蛸うちつけに鳴く

浜町 中村 正子

揮らず稲田にむる雀とも古りし案山子は成いは吾か

赤瀬川 篤瀬 紀夫

帰り来し船のともづな引く主婦の明るき笑みは豊漁ならむ

琴平町 坂元 竜馬

あくねのみんな ⑭



火の神

空順法印

中央公園入口石段の横に「火の神」空順法印石像があります。

昔(正徳・享保の頃)

阿久根の町

には、毎年

必ずという

ほど火事が

ありました。

どんなにみ

んなが注意

して火を大

切にしても

火事が絶え

なかつたの

です。人々

は阿久根全

体が燃きつ

くされてしま

うのではないかと

心配しました。頂度その時諸国行脚の高徳の



僧がこの町に廻ってまいりました。人々は早速お坊様の宿に上つてお願いしました。「よろしい勘僧が引き受けました。今後この町に火事のないようにして上げます」と、お坊様は申されました。そして七日の間断食をして、高松川河口洲崎で一心不乱にお祈りされました。ところが不思議にもそのききめは現はれました。その後は四十年余りの間火事が起らなかつたといわれます。

今も火事

よけの神と

して、この

徳の高い空

順法印をお

祀りしてい

ます。

中央公園

入口の石像

は二百四十

六年前遺の

人々が建立

したもので

す。

消防車に

空順号と名

付けたのも火よけの神としてい

つまでも人々に伝えるためです。

みんなの広場

話題ニュースは
広報係③1211内214へ

が ん ぱ っ て

い っ ぱ い



市内臨幸下村
松木直子さん(20)

体の不自由な方々が楽しく暮らせるよう真心をこめて
奉仕します。

蓮の実園

阿久根小

楽しく音楽交換会

「おじいさん、おばあさん、わたしたちの学校へようこそ、今日の交換会を楽しみに待っていました」。蓮の実園の園生と阿久根小学校四・五・六年生全員による音楽交換会が十月三十日、阿久根小学校講堂で行われ、心のふれ合いをしました。今回で三回目。

蓮の実園から二十二人の園生が小学校から五百六十五人の子どもたちが参加。園生が「みちづれ」「北風の春」などの器楽演奏のあと、小学校各学年による歌、楽器の演奏、それに千羽鶴やソウキンの



の交換も行われました。(写真は交換会のもよう)

おめでとう 結婚50年 —祝賀式—

結婚して五十周年を迎えた夫婦を祝う、市主催の祝賀式が十月三十日、老人福祉センターで行われました。今年の特典者は、昭和八年九月十六日から昭和九年九月十五日までの間に結婚された方々で、市内

二十六組のうち二十一組が参加。川畑市長が「五十年という長い間夫婦元気で、長生きしていただきおめでとうございます。これから夫婦仲良く暮らしてください」と祝福、お祝い状や記念品を贈りました。



参加者はこのあと昼食を取り、舞台でくりひろげられる踊りを楽しみ、結婚五十周年の感激を新たにしていました。

大尾区を破り 上野区優勝

区対抗ソフトボール

市長から代表者に祝賀状が贈られる
第十六回区対抗ソフトボール大会は、十月二十八日の総合グラウンドに二十三チームが参加して行われ、上野区が大尾区を破り優勝しました。二位大尾 三位飛松中村でした。

50歳母校でハッスル

子供たちとリレー

楽しむ

五十歳全員集合。市内小学校の運動会は十月七日行われましたが、今年も母校を卒業して今年五十歳を迎えた方々が母校に集い、子どもたちとのリレーなど楽しみました。

このなかで今年、初めて、この種目を取り入れた臨本小学校でも昭和二十二年臨本国民学校を卒業した二百四十七人のうち、東京、大阪、県内各地から八十人が、それぞれ恩師四人がかけつけました。プログラム十七番「五十歳元気です」で小学校四年生とリレー、久しぶりの母校での運動会にハッスルしていました。



プラカードを先頭に入場する50歳組

むかしの
子どもの遊び

(17)

チャンバラ
ごっこ



家の中であれば、ものさし、はたきを腰にさして兄弟であれば回り、庭や馬小屋があればそこがチャンバラごっこの場所となった。

山で手ごろな木を捜しては木刀を作り、近所の子供達が集まって野原やたんぼ木刀を打ちあわせて遊びます。新聞紙でかぶとを作りかぶることもあった。

包丁さばきバッチリ
魚料理に挑戦

水産教室



料理したあと、みんなで楽しく試食

市の水産教室では十月十三日、働く婦人の家で料理実習を行い、サバのみそホイル焼きなど三品を上手に仕上げました。

七月に開校した水産教室、これまで毎月一回漁業知識を勉強してきます。この日の料理実習には教室生十九人が参加。改良普及所の京田先生の指導でまず、サバの三枚おろしに挑戦、真鍮な顔つきで包丁をたくみに使っておろしていました。このあとおろしたサバを



わたしの

お父さん (10)

市内新町

新町真琴 (7)

新町市正さん (43)

わたしのおとうさんは、やせているけど力もちで、きかなのはこなどいっばいかかえられま

す。

わたしが、きらいなところは、ひげがはえているのにほつべたにちゆをする事です。ちくちくしてとてもいたいです。

大ききなところは、おかあさんにおこられているとき、わたしをかばってくれる事です。おさかながいつぱいうれて、いつもにこにこしているおとうさんで、いいなあ。

ハイ元気だよ!



坂元友香ちゃん (2歳7ヶ月)
市内春畑住宅
坂元清蔵さんの長女

楽しく買い物

愛和園の園生
ロータリークラブ協力

ホイルに包んで、ホイル焼きに仕上げ、合わせてみそ汁も料理。最後にみんなで完成した料理をほおぼり、「うまかア」と満足。これで海の男もOKですな。



楽しく買い物

日ごろお店で買い物ができない園生に「ショッピングの楽しさを味わって」と、愛和園では、十月十八日園外ショッピングを実施しました。この手伝いを阿久根ロータリークラブの会員がかって出て園生や職員を喜ばせました。

この日ショッピングに参加した

のは園生八人で、職員と一緒に市内のデパートへ。まずロータリーの方々と一緒に昼食のあとさっそく買い物。会員が一人づつ園生に付き添って車イスを押して一緒に店内を回り、衣類や果物、お菓子など楽しく買物の手伝いをして

お知らせ

行事催し物など
どしどしお寄せください

③1211内線214

六十年年度生徒募集中

県立職業訓練校

県立の高崎城、鹿屋専修職業訓練校と、吹山島専修職業訓練校では、昭和六十年年度の生徒を募集しています。

訓練科目は、自動車整備、板金溶接、電気、木工、建築、塗装で定員は十人から三十人の範囲です。

▽募集期間
昭和六十年の一月十日(木)まで

▽入校選考
六十年一月二十一日(印)午前九時

▽選考場所
各職業訓練校で行います。

▽選考方法
筆記試験(数学・国語・社会及び面接)

詳しくは県民生労働部職業訓練課 0992-8111へ

自衛官募集の案内

☆募集自衛官

二等陸士・海士・空士
☆募集期間
十二月三十一日まで

☆試験科目
中学校卒業程度の学力について行う筆記試験(国語(作文ふくむ)数学、社会)身体検査、適性検査及び口述試験

B & G「若人の船」

参加者募集

十一月三十日まで

▽人員 四人(A・Bグループ
B二人)

▽査行地 ハワイ

▽実施期間
Aグループ 昭和六十年二月一日から十四日まで
Bグループ 昭和六十年二月十三日から二十五日まで

▽参加対象
十八歳から二十歳までの男女

詳しいことについては市役所市民課へ

あなたの声を市政に

市政懇談会を開催しています

いま、各区で市政懇談会が開かれています。

市から、市長以下執行部が出向き、市政の実態の説明と、市民の皆さんの声を聞いています。

各区で出された意見、要望は、市政のために生かされます。

どしどし参加し、あなたの声を市政に生かしましょう。



▽参加費 十二万六千円

申し込みなど詳しいことについては、市の社会体育課③1211内314へ

不用犬の引き取り

十一月二十七日

午前十時～十時半
保健センター

10月の市内交通事故

	()は前年	累計
		(10月1日から10日まで)
発生件数	3 (18)	94
死亡者	0 (1)	2
傷者数	6 (13)	123

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます(敬称略)

的場友雄(野元)原伝弥(福本浜)立野昇(湯)下藤光男(同)松永アイ生(浜)寺地トヨ(出水市)宇都愛右衛門(本々車札)

心配ごと相談は5の日

心配ごと相談は毎月五日・十日十五日・二十五日です。気軽にご相談ください。

休日の場合は翌日になります。社会福祉協議会



給油所の日曜当番店

11月18日

阿久根石油(阿久根港)③2430
高古石油(西目)②1418

11月25日
南国殖産(大丸)②0362

12月2日
阿久根石油(大丸)②0318

12月9日

マルハ商事(湯)②1555
12月16日
松永石油(牛之浜)④1342

交通事故相談日

十二月十四日(金)

市民相談室

昭和五十九年十一月十日 鹿児島県阿久根市鶴見町二〇番地阿久根市役所編集発行